

沿革

1970年	4月	埼玉県坂戸市に「城西歯科大学」として開学
1988年	4月	千葉県浦安市に「外国語学部」「経済学部」を設置し、大学名を「明海大学」と変更
1992年	4月	浦安キャンパスに日本初の「不動産学部」を設置
1994年	8月	社団法人全国宅地建物取引業協会との間に「『不動産学』の教育・研究に関する協定書」を締結
1998年	4月	浦安キャンパスに「大学院応用言語学研究科・経済学研究科・不動産学研究科」修士課程を設置
1998年	9月	ケンブリッジ大学短期研修開始
2000年	3月	環境デザイン専修コース（当時）が二級建築士受験資格認定。6月には一級建築士受験資格認定
2000年	10月	日本土地家屋調査士会連合会との間に「『不動産学』の教育・研究に関する協定書」を締結
2002年	3月	韓国短期研修開始（建国大学校、江原大学校を交互に訪問）
2002年	4月	不動産学部設立10年
2002年	9月	社団法人全日本不動産協会と、財団法人日本賃貸住宅管理協会との間に「『不動産学』の教育・研究に関する協定書」を締結
2002年	5月	社団法人日本住宅建設産業協会との間に「『不動産学』の教育・研究に関する協定書」を締結
2005年	9月	「マイホームを買う前に聞いて安心講習会」を開始。年二回。千葉県県土整備部建設・不動産業課、（社）千葉県宅地建物取引業協会、

		(社) 全日本不動産協会千葉本部と不動産学部による「千葉県不動産取引研究会」の共催
2006年	12月	浦安キャンパスに「不動産研究センター」を設置
2007年	7月	財団法人日本不動産研究所との間に不動産に関する研究および社会への情報発信を目的とした研究交流に関する協定書を締結
2008年	4月	ビジネスコース、ファイナンスコース、デザインコースの3コース制に再編成。デザインコースにおいては建築士受験に必要な指定科目を提供
2010年	11月	千葉県不動産取引研究会の活動に2010年度不動産学会業績賞が授与される
2012年	3月	中国短期研修開始(北京大学)
2012年	4月	不動産学部設立20年
2013年	11月	浦安環境共生都市コンソーシアムにおける活動に2013年度不動産学会業績賞が授与される
2014年	4月	新入生から宅建士取得の必修化
2015年	10月	日本・アジア青少年サイエンス交流事業開始(清華大学の学生8名受け入れ)
2017年	4月	不動産学部設立25年
2017年	7月	公益財団法人不動産流通推進センターと研究交流に関する協定書締結 株式会社LIXILリアルティと産学連携に関する包括協定書締結
2017年	12月	スターツグループと産学連携活動に関する協定書締結
2018年	8月	山形県上山市と「空家等・空き地の活用に関する地域づくり連携協定」を締結
2022年	4月	不動産学部設立30年